

地方独立行政法人大阪府立病院機構 平成28事業年度業務実績に関する評価結果の概要（案）

大阪府地方独立行政法人
大阪府立病院機構評価委員会
(事務局：大阪府財務部行政経営課)

地方独立行政法人大阪府立病院機構の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府地方独立行政法人大阪府立病院機構評価委員会による評価を受けることとなっており、平成29年8月29日に開催された平成29年度第3回同評価委員会において、平成28事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

- 「府民に提供するサービスその他の業務の質の向上」及び「業務運営の改善及び効率化」の2つの大項目評価について、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。
- 特に、以下のような取組みを評価した。
 - ・各病院が医療施策の実施、診療機能の充実・強化を図るとともに、優れた人材の確保に努め、診療機能充実のための基盤づくりを推進したこと。
 - ・各病院において、地域医療機関との連携強化により新入院患者の受入に努めるとともに、新たな施設基準の取得等により、全病院において医業収益が前年度実績を上回ったこと。
- 委員会コメント
働き方改革が求められる中、時間外勤務の縮減や勤務条件の改善を進めるなど、引き続き全職員のワークライフバランスの向上を図るとともに、魅力ある職場づくりを進め、医師をはじめとした医療従事者の確保を実現することで、患者へのより良質な医療提供を行われたい。

大項目	評 価					主な判断理由・特記事項
府民に提供するサービスその他の業務の質の向上	S	A	B	C	D	急性期・総合医療センターでは、救急車搬入患者数及びTCU（救命救急部門）新入院患者数について、目標を大幅に上回るとともに、成人病センターにおいては、特定機能病院として、ロボット手術等の低侵襲治療や分子標的治療等の高度先進医療を実施するなど、各病院の診療機能の充実・強化を図り、それぞれの病院の特性に応じた高度専門医療を提供し、高い目標に向けて努力していることを評価した。 急性期・総合医療センター等の熊本地震への対応など、他の項目においても中期計画が着実に進捗していることを確認した。
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	医業収益は前年度と比較して増加した。併せて医業費用も増加しているものの、法人全体での経常収支比率、医業収支比率は目標を上回る結果となっていることを評価した。 また、診療報酬制度の改定や医療関連法制の改正等、医療を取り巻く環境の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、診療報酬の確保に努めるなど、収益増加に向けた取組みや、SPD（院内物流管理システム）の活用による材料費縮減などの経費節減の取組みを着実に進めていることを確認した。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり